

NEC Expressサーバ
インターネットアプライアンスサーバ

N8100-804

Express5800/CacheServer
(Nスリムタワー)

ユーザーズガイド

商標について

ESMPROとCLUSTERPROは日本電気株式会社の登録商標です。LinuxはLinus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標または商標です。UNIXはThe Open Groupの登録商標です。Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Intel、Pentium、Celeronは米国Intel Corporationの登録商標です。ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。DatalightはDatalight, Inc.の登録商標です。ROM-DOSはDatalight, Inc.の商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows XPはMicrosoft® Windows®XP operating systemの略称です。Windows 2000はMicrosoft® Windows®2000 Server operating system、Microsoft® Windows®2000 Professional operating systemの略称です。Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server operating system version 3.51/4.0、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system version 3.51/4.0の略称です。Windows MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition Operating Systemの略称です。Windows 98はMicrosoft® Windows®98 operating systemの略称です。Windows 95はMicrosoft® Windows®95 operating systemの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

本サーバで使用しているソフトウェアの大部分は、BSDの著作とGNUのパブリックライセンスの条項に基づいて自由に配布することができます。ただし、アプリケーションの中には、その所有者に所有権があり、再配布に許可が必要なものがあります。

GPLライセンスのソースファイルは、レッドハット株式会社のWebサイト(<http://www.redhat.co.jp/>)よりダウンロードすることができます。また、本製品で使用しているオープンソースコードは、弊社サイト『<http://www.express.nec.co.jp/linux/>』で公開しております。

注 意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波適合品

本装置は経済産業省通知の家電、汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置 (UPS) 等を使用されることをお勧めします (UPS の導入につきましては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください)。

レーザ安全基準について

本装置に標準で搭載されているCD-ROMドライブは、レーザに関する安全基準 (JIS・C-6802、IEC825) クラス1に適合しています。

海外でのご使用について

本装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

使用上のご注意 - 必ずお読みください -

本装置を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

Express5800シリーズを安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。

このユーザーズガイドには装置のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズガイド、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



警告







指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。





注意

指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生する↓4つがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (接触禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜け)

(ユーザーズガイドでの表示例)



注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
	指定以外のコンセントに差し込まない 電源は指定された電圧、電源の壁付きコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。	 注意

本書、および警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。		本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
---	-------------------	---	--------------------------------------





行為の強制






	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
---	--	---	--

安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明についてはiiiページの『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項

 警告	
	<p>人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない</p> <p>本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じて当社はいかなる責任も負いかねます。</p>
	<p>煙や異臭、異音が生じたまま使用しない</p> <p>万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちにPOWERスイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。</p>
	<p>針金や金属片を差し込まない</p> <p>通気孔やフロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。</p>

 注意	
 	<p>海外で使用しない</p> <p>本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。</p>
 	<p>装置内に水や異物を入れない</p> <p>装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。</p>

電源・電源コードに関する注意事項

警告



ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



アース線をガス管につながない

アース線は絶対にガス管につながないでください。ガス爆発の原因になります。

注意



指定以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電源の壁付きコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。

また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様に合わせていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。



たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。



中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



指定以外の電源コードを使わない

本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。

また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次のような行為を行わないでください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードを束ねない。
- 電源コードをステーブラ等で固定しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードにものを載せない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。

⚠ 注意



指定以外の場所に設置しない

本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 不安定な場所。

また、本装置を縦置きにしてお使いになるときは添付のスタビライザで本装置を固定してください。



プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

インタフェースケーブルの取り付け/取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。



指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、NECが指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

警告



自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



リチウム電池を取り外さない

本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池を取り外さないでください。リチウム電池は火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、リチウム電池の寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してください。



プラグを差し込んだまま取り扱わない

お手入れや本装置内蔵用オプションの取り付け/取り外し、装置内ケーブルの取り付け/取り外しは、本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。

また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

注意



高温注意

本装置の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。



中途半端に取り付けない







電源ケーブルやインタフェースケーブル、ボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。



コネクタカバーを取り付けずに使用しない

内蔵デバイスと接続していない電源ケーブルのコネクタにはコネクタカバーが取り付けられています。使用しないコネクタにはコネクタカバーを取り付けてください。コネクタカバーを取り付けずに使用すると、コネクタが内部の部品に接触して火災や感電の原因となります。

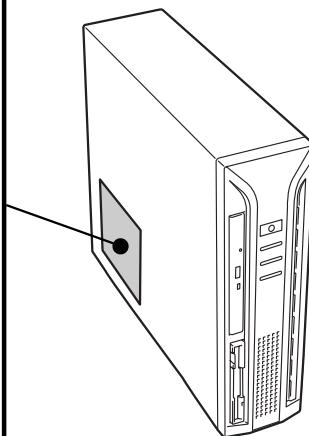
運用中の注意事項

 注意	
	<p>雷がなったら触らない</p> <p>雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。</p>
	<p>ペットを近づけない</p> <p>本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。</p>
	<p>装置の上にものを載せない</p> <p>スタビライザで固定していても装置が倒れて周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。</p>
	<p>CD-ROMドライブのトレイを引き出したまま放置しない</p> <p>引き出したトレイの間からほこりが入り誤動作を起こすおそれがあります。また、トレイにぶつかりけがをするおそれがあります。</p>
	<p>近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない</p> <p>本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。</p>

警告ラベルについて

本装置内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これは本装置を操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できないときは販売店にご連絡ください。

 注意 CAUTION	
オプションの取付け、取外し時は電源プラグをコンセントから抜き、電源プラグを抜く 外部装置と接続しているケーブルを外して下さい。 Disconnect all AC power cords from both system and external peripherals prior to installing/removing options.	
感電注意	
ネジは本体内部へ落とさない様、十分ご注意ください。 Do not drop any screws inside the system.	
ボード及びオプション機器の接続の際は、必ずユーザズガイドを参照し、正しく接続して下さい。 誤った接続は、故障や火災の原因となります。	
Refer to "User's Guide" when option boards or peripherals are installed. Incorrect installations may result in damage to the system and lead to accidents.	
装置の持ち上げ、移動の際は、装置の底面をしっかりと持って持ち上げて下さい。 Firmly hold the bottom of the system when required to lift and carry the system.	
高温になるコンポーネントがあります。十分に冷えてから触れるようにして下さい。 As some components may become very hot during system operation, give ample time to allow cooling as well as use precaution when handling internal components immediately after powering down.	
電源を切ってもバッテリーで稼働している部品があります。 Some internal components may still be operational on battery power.	
保守をするまえに各々のコンポーネントの取り扱い説明書をお読み下さい。 Refer to instruction manuals for this system as well as options prior to maintenance.	



警告ラベルは、装置背面を手前側に置いたとき、文字が正しく読める向きに貼られています。

取り扱い上のご注意 - 装置を正しく動作させるために -

本装置を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると本装置の誤動作や故障の原因となります。

- 周辺機器へのケーブルの接続/取り外しは本装置の電源がOFFになっていることを確認し、電源プラグをコンセントから外した後に行ってください。
- 電源のOFFやフロッピーディスクの取り出しは、本装置のアクセスランプが消灯していることを確認してから行ってください。
- 本装置の電源を一度OFFにした後、再びONにするときは10秒以上経過してから行ってください。
- 本装置を移動する前に電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 定期的に本装置を清掃してください(清掃は191ページで説明しています)。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として無停電電源装置等を使用することをお勧めします。
- シリアルポート2(COM2)コネクタは管理PCとの通信をするためのインタフェースに設定されています。シリアルポート2コネクタにその他の接続をすると誤動作の原因となります。
- オプションは本装置に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本装置に取り付けや接続ができていても正常に動作しないばかりか、装置本体が故障することがあります。
- オプションはNECの純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のメモリやハードディスクには本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。
- 本装置を縦置きで使用する場合は、添付のスタビライザで固定してください。設置の向きは前ページの図を参照してください。また、横置きの場合は、フロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブが上になるようにして、添付のゴム足をていねいに底面に貼り付けてから設置してください。



保守サービスについて

本装置の保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。

本装置をいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

～Memo～

はじめに

このたびは、NECのExpress5800/CacheServer (Nスリムタワー)をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は、インターネットビジネスに欠かせないファイアウォール、キャッシングシステム、メールサービス、Webサービスなど、各機能をそれぞれの専用ハードウェアに集約したNECのインターネットアプリケーションサーバファミリーの1つです。

省スペース型のスリムな本製品は、高い性能と信頼性が凝縮されたハードウェアと用途に応じて設計された使いやすい専用のソフトウェアが高速のインターネットアクセスを提供します。

また、セットアップのわずらわしさをまったく感じさせない専用のセットアッププログラムやマネジメントアプリケーションは、お客様の一元管理の元でさらに細やかで高度なサーバ機能の実現を提供します。

本製品の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。




本書について

本書は、本装置を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。システムのセットアップを行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用ください。

本書は常に本装置のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

 重要	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
 チェック	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

画面イメージ内の表示内容について

本書では、クライアントマシンのディスプレイに表示されるアプリケーションの画面イメージを掲載しています。この中で「x.x.x.x」や「xxxx」などとなっている部分は任意のURL、およびアドレスやドメイン名、設定値を示します。これらは、お客様のお使いになる環境によって異なります。お使いになっている環境に合わせて読み替えてください。

Management Consoleの画面イメージは、実際のものと若干異なる場合があります。

本書の再購入について

もし本書を紛失された場合は、最寄りの販売店、またはお買い求めの販売店にご相談ください。ユーザーズガイドは、Express5800シリーズのホームページ(8番街)からダウンロードすることができます。

【8番街】 <http://nec8.com/>

本書の構成について

本書は7つの章から構成されています。それぞれの章では次のような説明が記載されています。なお、巻末には付録・用語解説・索引があります。必要に応じてご活用ください。



「使用上のご注意」をはじめをご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本装置を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

- 第1章 知っておきたいこと 本製品の特長や添付のソフトウェア、および各部の名称やその機能、日常の運用での基本的な操作について説明します。
- 第2章 セットアップ 本体の設置から接続、専用ツールによるセットアップなど装置を使用できるまでの作業と注意事項を説明します。再セットアップの方法についても説明しています。
- 第3章 システムの管理 クライアントマシンからWebブラウザを使って本装置にアクセスする方法やWebブラウザ上に表示される「Management Console」を使ったシステムの設定や状態のチェックの方法について説明します。
- 第4章 保守・管理ツールCD-ROM 本体に添付の「保守・管理ツールCD-ROM」の使い方とCD-ROMにあるツールやアプリケーションの使用方法について説明します。
- 第5章 ESMPRO 本体に添付の「保守・管理ツールCD-ROMおよびバックアップCD-ROM」には、システムのセットアップに必要なモジュールの他にExpress5800シリーズの管理と監視を制御するESMPRO/ServerManager、ServerAgentがバンドルされています。ここでは、これらのアプリケーションを利用する上での注意事項や各種設定内容について説明しています。
- 第6章 システムの拡張 内蔵オプションの取り付け/取り外し方法と、BIOSの設定内容の確認と変更方法について説明します。
- 第7章 故障かな？と思ったときは 「故障かな？」と思ったときは、装置の故障を疑う前に参照してください。また、この章では故障を未然に防ぐための保守のしかたやExpress5800シリーズをご利用のお客様に提供しているサービスについても紹介しています。

付属品の確認

梱包箱の中には、本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成表を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



付属品について

- 添付品はセットアップをするときやオプションの増設、装置が故障したときに必要となりますので大切に保管してください。
- 添付品のソフトウェアパッケージの構成品については、パッケージの中にある構成表を参照してください。
- フロッピーディスクが添付されている場合は、フロッピーディスクのバックアップをとってください。また、添付のディスクをマスタディスクとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付のフロッピーディスク、またはCD-ROMは使用方法を誤るとお客様のシステム環境を変更してしまうおそれがあります。使用についてご不明な点がある場合は、無理な操作をせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社にお問い合わせください。

第三者への譲渡について

本体または、本体に添付されているものを第三者に譲渡(または売却)するときは、次の注意を守ってください。

● 本体について

第三者へ譲渡(または売却)する場合には、本書を一緒にお渡しください。

● 添付のソフトウェアについて

添付のソフトウェアを第三者に譲渡(売却)する場合には、以下の条件を満たす必要があります。

- ー 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
- ー 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- ー 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、インストールした装置から削除した後、譲渡すること

消耗品・装置の廃棄について

- 本体および本体内部デバイス（ハードディスク、フロッピーディスク、CD-ROMやボード類など）の廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。



本体内部のマザーボード上にあるバッテリーの廃棄（および交換）についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。

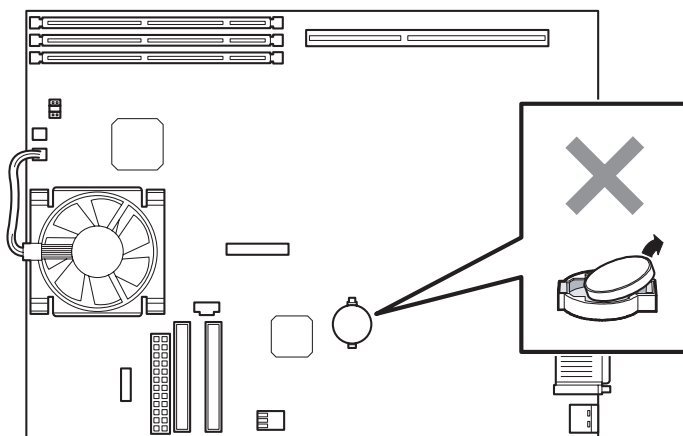
- 本体内部の部品の中には、寿命により交換が必要なものがあります（冷却ファン、バッテリー、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブなど）。装置を安定して稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。交換や寿命については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社にご連絡ください。



リチウム電池を取り外さない


本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池を取り外さないでください。リチウム電池は火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、リチウム電池の寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してください。



マザーボード

目次

 使用上のご注意 - 必ずお読みください -	iii
安全にかかわる表示について	iii
本書、および警告ラベルで使用する記号とその内容	iv
安全上のご注意	v
全般的な注意事項	v
電源・電源コードに関する注意事項	vi
設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項	vii
お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項	viii
運用中の注意事項	ix
警告ラベルについて	x
取り扱い上のご注意 - 装置を正しく動作させるために -	xi
はじめに	xiii
本書について	xiv
本文中の記号について	xiv
画面イメージ内の表示内容について	xiv
本書の再購入について	xiv
本書の構成について	xv
付属品の確認	xvi
第三者への譲渡について	xvi
消耗品・装置の廃棄について	xvii

1 知っておきたいこと

インターネットアプライアンスサーバについて	2
インターネットアプライアンスサーバとは	2
機能と特長	4
添付のディスクについて	8
ESMPRO	9
各部の名称と機能	10
装置前面	10
装置背面	11
装置内部	11
マザーボード	12
ランプ	13
POWERランプ	13
DISKアクセスランプ	13
運用時の操作	14
POWERスイッチ - 電源のON/OFF -	14
フロッピーディスクドライブ	16
フロッピーディスクのセット/取り出し	16
フロッピーディスクの取り扱いについて	16
CD-ROMドライブ	18
CD-ROMのセット/取り出し	18
取り出せなくなったときの方法	19
CD-ROMの取り扱いについて	20

リセット	21
クライアントマシンからのリセット	21
強制電源切断	21

2 セットアップ

設置と接続	24
設 置	24
接 続	26
初めてのセットアップ	28
初期導入設定用ディスクの作成	28
初期導入設定プログラムの実行と操作の流れ	28
各入力項目の設定	29
システムのセットアップ	31
セットアップの手順	31
セットアップに失敗した場合	32
オンラインアップデートの実行	32
ESMPRO/ServerAgentのセットアップ	33
システム情報のバックアップ	33
管理PCのセットアップ	34
再セットアップ	35
保守用パーティションの作成	35
システムの再インストール	35
初期導入設定用ディスクの作成	36
システムのセットアップ	37
オンラインアップデートの実行	37
ESMPRO/ServerAgentのセットアップ	37

3 システムの管理

Management Consoleについて	40
Management Consoleのセキュリティモード	41
Management Consoleへのアクセス方法	41
レベル1の場合	41
レベル2の場合	42
プロキシ	43
プロキシサーバの設定	44
基本設定(フォワードプロキシ)	44
基本設定(リバースプロキシ)	46
親プロキシ設定	48
隣接プロキシ設定	49
詳細設定	50
アクセス制御設定	52
スケジュールダウンロード	59
認証設定	62
バイパス設定	64
フィルター設定	65
Interscan設定	65
SmartFilterを使用する	67

サービス	71
時刻調整 (ntpd)	72
ネットワーク管理エージェント (SNMP)	73
リモートログイン (telnet)	74
WPAサーバ	74
パッケージ	75
オンラインアップデート	75
手動インストール	77
パッケージの一覧	77
システム	78
システム停止／再起動	78
システムの停止	78
システムの再起動	78
状態	79
その他	81
バックアップ	87
「Samba」によるバックアップ設定の例	88
Windowsマシンの共有フォルダの作成	88
システムのバックアップファイルグループの設定	92
バックアップの実行	94
リストア	95

4 保守・管理ツールCD-ROM

保守・管理ツール	98
起動方法	98
LAN接続された管理PCから実行する	98
ダイレクト接続 (COM2) された管理PCから実行する	99
メインメニュー	101
Install Menu	104
オフライン保守ユーティリティ	105
オフライン保守ユーティリティの起動方法	105
オフライン保守ユーティリティの機能	105
システム診断	107
システム診断の内容	107
システム診断の起動と終了	107
MWA - Management Workstation Application -	109
通信方法について	109
MWAの機能	110
動作環境	111
MWAのインストール	111
コンフィグレーション	112

概 要	114
サーバ障害の検出	116
サーバ障害の予防	116
サーバ稼動状況の管理	117
分散したサーバの一括管理	117
ESMPRO/ServerManager	118
動作環境	118
セットアップの前準備	119
ネットワークサービスの設定	119
セキュリティの設定 - ESMPROユーザーグループの設定 -	119
インストール時に必要なディスク容量の確認	119
運用中に必要なディスク容量の確認	120
旧バージョンのESM(PRO)/ServerManagerがすでにインストールされている場合 ..	120
他のESMPRO製品を同じマシンにインストールする場合	120
最大レジストリサイズの設定	120
インストール	121
使用するインストールディスクについて	121
インストール前の注意事項	121
インストール手順	122
アンインストール	124
アンインストール前の注意事項	124
アンインストール	125
インストール後の補足説明	126
ESMPRO/ServerAgent	135
動作環境	135
注意・制限事項	135
ESMPRO/ServerAgentへのアクセス	136
セットアップ - 監視機能 -	137
全般プロパティ	137
CPU負荷監視	138
ストレージ監視	140
ファイルシステム監視	142
ネットワーク(LAN)監視	144
ディスクアレイ監視	145
温度監視	146
電圧監視	147
オフライン保守ユーティリティ連携 - ESRASプロパティ -	148
DCスイッチ監視	148
機能説明	148
設 定	148
セットアップ - 通報設定機能 -	149
基本設定	150
マネージャ通報(SNMP)	150
マネージャ通報(TCP_IP In-Band)	151
マネージャ通報(TCP_IP Out-Band)	151
シャットダウン開始までの時間設定	151
通報先リストの設定	152
通報先IDの設定・変更	153
通報先IDの追加	156
通報先IDの削除	156
エージェントイベント設定	157
Syslog設定	159
ハードウェアログの参照	165

6 システムの拡張

作業を始める前に	168
安全上の注意	168
取り扱い上の注意	168
静電気対策について	169
取り付け/取り外しの準備	170
カバー	170
取り外し	170
取り付け	171
フロントマスク	172
取り外し	172
取り付け	172
DIMMの増設	173
取り付け	174
取り外し	176
PCIボードの増設	177
取り付け	177
取り外し	180
BIOS設定の変更	181
起 動	181
キーと画面の説明	182
DIMMを取り付けた(または取り外した)場合	183
PCIボードを取り付けた(または取り外した)場合	184
POWERスイッチ機能を無効にする	185
終了方法	186

7 故障かな?と思ったときは

日常の保守	190
アラートの確認	190
ステータスランプの確認	190
バックアップ	190
クリーニング	191
本体のクリーニング	191
CD-ROMのクリーニング	192
オンラインアップデートの実行	192
障害時の対処	193
障害箇所の切り分け	193
トラブルシューティング	194
初期導入時	194
運用時	195
初期導入用設定ディスクの作成について	199
保守・管理ツールについて	199
Install Menuについて	200
ESMPROについて	200
システム情報の確認	201
ハードウェア構成情報の復旧	201
CMOSのクリア - コンフィグレーションジャンプスイッチ -	201
BIOS設定値のリロード	202

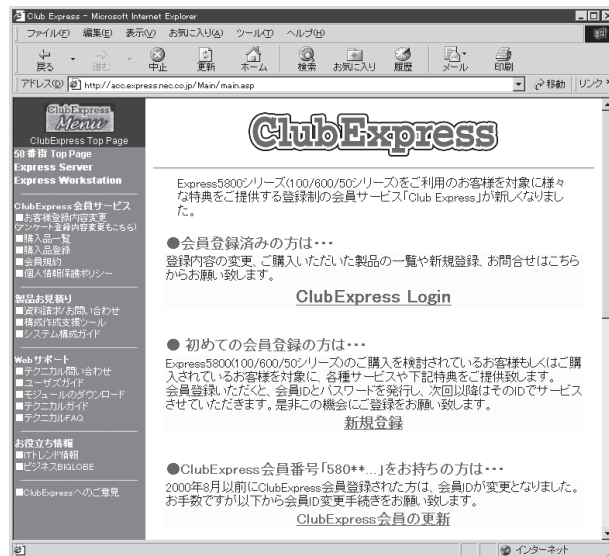
移動と保管	203
ユーザーサポート	204
保証について	204
修理に出される前に	205
修理に出される時は	205
補修用部品について	205
保守サービスについて	206
ハードウェアメンテナンスサービス	206
オプションサービス	207
情報サービスについて	208
 付録A 仕様	209
付録B 保守サービス会社網一覧	210
 用語解説	215
 索引	219

ユーザー登録をしましょう！

NECでは、製品ご購入のお客様に「Club Express会員」への登録をご案内しております。添付の「お客様登録申込書」に必要事項をご記入の上、エクスプレス受付センターまでご返送いただくか、またはClub Expressのインターネットホームページ

<http://club.express.nec.co.jp/>

にてご登録ください。



「Club Express会員」のみなさまには、ご希望によりExpress5800シリーズをご利用になる上で役立つ情報サービスを、無料で提供させていただきます。サービスの詳細はClub Expressのインターネットホームページにて紹介しております。是非、ご覧ください。